



ALLIANCEBERNSTEIN®

交付運用報告書

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）

追加型投信／内外／株式

第18期（決算日2019年7月31日）

作成対象期間（2018年8月1日～2019年7月31日）

第18期末（2019年7月31日）	
基準価額	17,794円
純資産総額	3,720百万円
第18期	
騰落率	4.7%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）」は、このたび第18期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターの中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資するアクティブ運用を行います。当期についても、これに沿った運用を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 **お客様窓口**

電話番号 **03-5962-9687**（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法＞

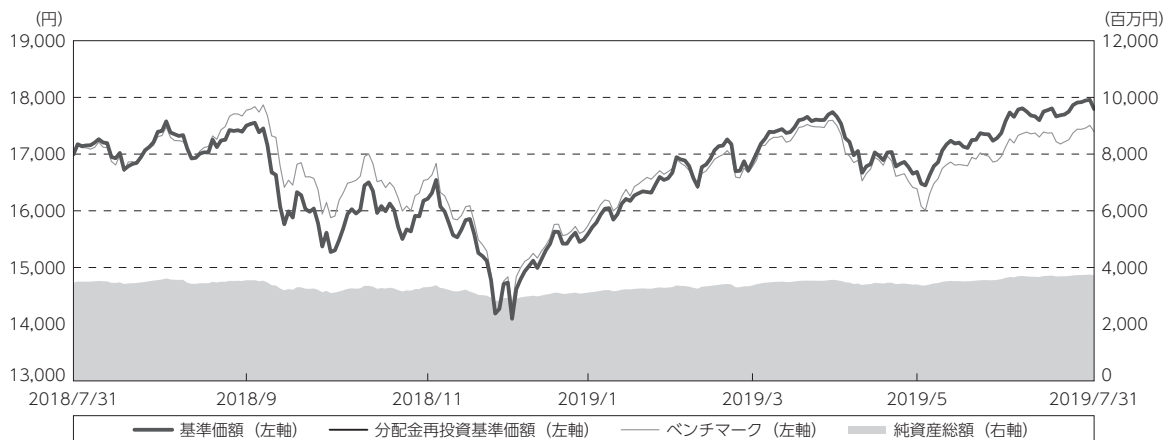
上記ホームページアドレスにアクセス ➡ 「基準価額一覧（国内投資信託）」を選択 ➡ 「株式型」の表内の当ファンド名を選択 ➡ 「運用報告書（全体版）」のリンクを選択

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2018年8月1日～2019年7月31日）



期 首：16,992円

期 末：17,794円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 4.7%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2018年7月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（円ベース）です。詳細は3ページをご参照ください。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比+4.7%^{*}と、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（円ベース）の同+2.4%を上回るパフォーマンスとなりました。

^{*}基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断し保有した世界各国の株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。為替相場が円高ドル安となったことは、マイナス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2018年8月1日～2019年7月31日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	301	1.814	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(152)	(0.918)	委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(134)	(0.810)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(14)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.040	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(7)	(0.040)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	6	0.037	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(6)	(0.037)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	7	0.039	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0.015)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	321	1.930	
期中の平均基準価額は、16,587円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年7月31日～2019年7月31日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2014年7月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年7月31日 決算日	2015年7月31日 決算日	2016年8月1日 決算日	2017年7月31日 決算日	2018年7月31日 決算日	2019年7月31日 決算日
基準価額 (円)	11,924	14,648	11,519	15,342	16,992	17,794
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	22.8	△ 21.4	33.2	10.8	4.7
ベンチマーク騰落率 (%)	—	24.3	△ 17.5	25.0	12.3	2.4
純資産総額 (百万円)	2,627	2,997	2,294	2,905	3,466	3,720

- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（円ベース）です。

●ベンチマークに関して

○MSCIワールド・インデックス（円ベース）

MSCIワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が世界の先進国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックス（円ベース）は、MSCIワールド・インデックス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円換算したものです。

投資環境

（2018年8月1日～2019年7月31日）

当期の世界の株式市場は、期首（前期末）と比べて上昇しました。

期初から2018年9月末にかけては、世界的な通商問題の動向に左右され、一進一退の展開となりました。10月から12月下旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念が再燃したほか、英国の欧州連合（E U）離脱に関する不透明感、米連邦準備理事会（F R B）の利上げ継続姿勢などから、軟調に推移しました。中国ファーウェイ社の幹部逮捕による、米中関係悪化への懸念も株価を下押ししました。その後、2019年1月から4月にかけては、F R B議長による市場の懸念に配慮した発言や、米中通商協議の進展への期待を受けて、おおむね堅調に推移しました。英国議会がE U離脱日の延期を可決したことも、好材料となりました。しかし5月には、米国の早期利下げ観測の後退に加えて米中貿易摩擦への懸念が再燃し、世界経済の減速懸念が高まったことから下落に転じました。6月には、米国の利下げ観測などから再び反発し、その後も米中貿易摩擦への懸念が後退したことや欧米の中央銀行による金融緩和への期待などから、期末にかけておおむね堅調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年8月1日～2019年7月31日）

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として持続的な成長が見込まれるテーマに基づいた世界各国（日本を含む）の株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

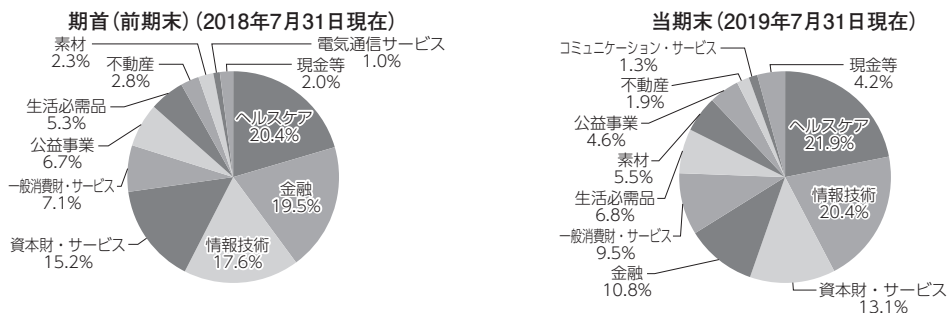
当ファンドは引き続き、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

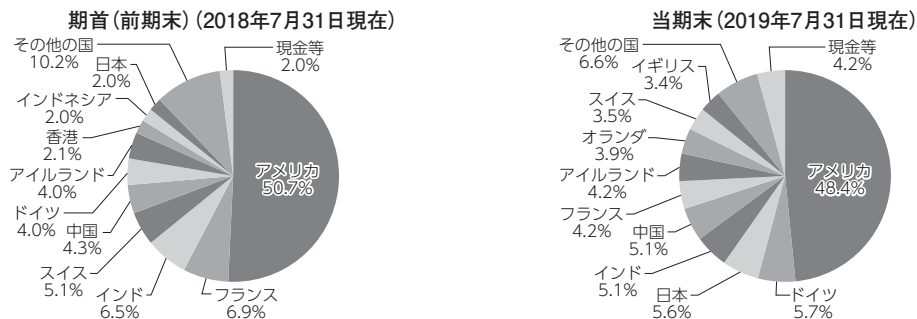
世界各国（日本を含む）の株式を対象に成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、グローバルな視点で調査・分析し、持続的な成長が見込まれるテーマに基づいた銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、企業のファンダメンタル分析に基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

マザーファンドのセクター別組入比率



マザーファンドの国別組入比率



※セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。

前期末から当期末にかけてGICSによるセクター分類が一部変更されております。

※国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

その結果、セクター配分においては、素材セクターや情報技術セクターなどの組入比率が上昇する一方、金融セクターや資本財・サービス・セクターの組入比率が低下しました。国別配分においては、オランダを新たに組み入れたほか、日本やイギリスなどの組入比率が上昇しました。一方、インドネシアなどを全て売却したほか、フランスやアメリカなどの組入比率が低下しました。

個別銘柄では、ライフサイエンス・素材化学会社のコーニンクレッカDSMやガラスおよびプラスチック製の特殊製品メーカーのゲレシェイマーなどを新規に組み入れたほか、テクノロジー企業のダッソー・システムズなどを買増しました。一方、レンズおよびその他のケア製品を提供するアイウェアメーカーのエシロールルックスオティカや多国籍食品加工会社のネスレなどを全て売却したほか、投資支援ツールや指標などを提供するMSCIなどを一部売却しました。

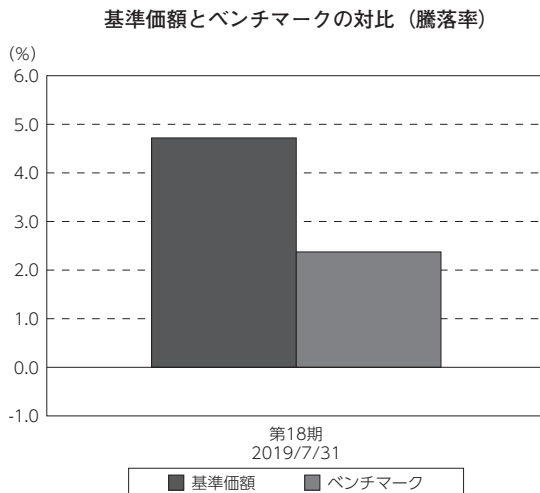
株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年8月1日～2019年7月31日）

ベンチマークとの比較では、ヘルスケア・セクターや素材セクターにおける銘柄選択や、エネルギー・セクターを低めに保有していたことが主なプラス要因となりました。

一方、情報技術セクターにおける銘柄選択は、主なマイナス要因となりました。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCI ワールド・インデックス（円ベース）です。詳細は3ページをご参照ください。

分配金

(2018年8月1日～2019年7月31日)

当期の収益分配については、長期的な信託財産の成長を目指す観点から、見送ることとしました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2018年8月1日～ 2019年7月31日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,313

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

＜マザーファンド＞

足元では、通商摩擦が景気へ及ぼす悪影響を緩和するため、欧米の中央銀行による利下げが想定されています。こうした予防的利下げ期待が株価を下支えすることが見込まれ、米国を中心に株式市場は底堅く推移するとみています。

マザーファンドでは、持続可能な利益成長が期待される投資機会として、国際連合総会で採択された持続可能な開発目標に対応する企業に着目しています。今後も長期的に成長が期待されるセクターやテーマに基づいて、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業を発掘する方針です。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

2018年8月1日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

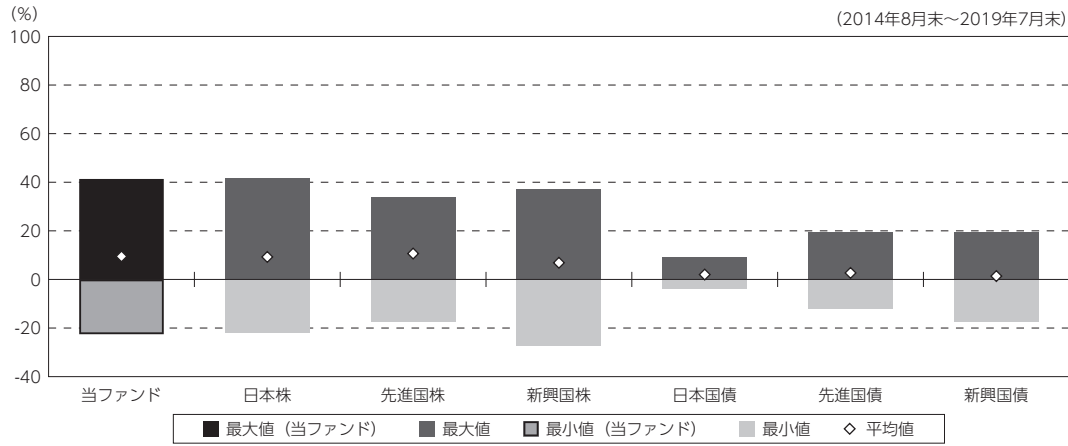
2014年12月1日に投資信託及び投資法人に関する法律が改正施行されたことに伴い、信用リスク集中回避のための投資制限として、一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととすることを追加しました。また、信託約款本文「(デリバティブ取引等に係る投資制限)」に記載された制限を「運用の基本方針」にも記載しました。その他所要の変更を行いました。
(変更日：2018年10月30日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	無期限。ただし、信託約款所定の事由が生じた時は、信託契約を解約し、信託を終了（償還）することがあります。	
運 用 方 針	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	世界各国の株式（日本株を含みます）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	①マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資します。 ②成長の可能性が高いと判断されるセクターの中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資するアクティブ運用を行います。 ③マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーに委託します。 ④実質外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤ファミリーファンド方式で運用を行います。	
分 配 方 針	(1) 決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わない場合もあります。 (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.4	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 22.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	9.5	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2014年8月～2019年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株……TOPIX（東証株価指数、配当込み）
- 先進国株……MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株……MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債……NOMURA – BPI 国債
- 先進国債……FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

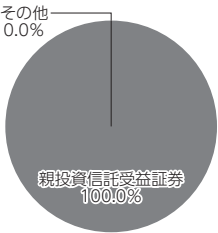
組入資産の内容 (2019年7月31日現在)

組入ファンド

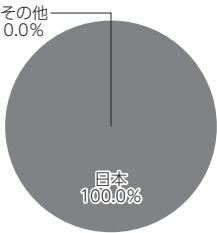
銘柄名	第18期末
アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	% 100.0
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

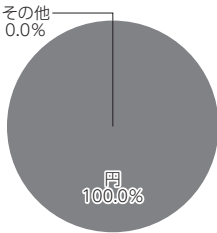
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第18期末
	2019年7月31日
純資産総額	3,720,088,620円
受益権総口数	2,090,597,387口
1万口当たり基準価額	17,794円

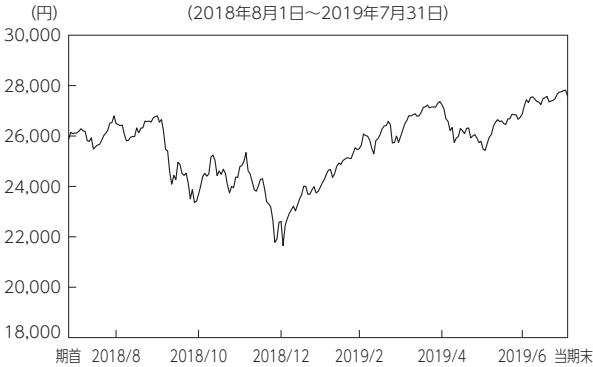
(注) 期中における追加設定元本額は336,225,841円、同一部解約元本額は285,631,077円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年8月1日～2019年7月31日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	10 (10) (0)	0.039 (0.039) (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	9 (9) (0)	0.037 (0.037) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費) (そ の 他)	8 (5) (4)	0.033 (0.018) (0.015)
合 計	27	0.109

期中の平均基準価額は、25,464円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年7月31日現在)

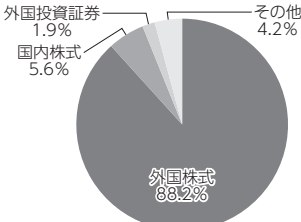
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国（地域）	比 率
1 ECOLAB INC	素材	米ドル	アメリカ	2.5%
2 AMERICAN WATER WORKS CO INC	公益事業	米ドル	アメリカ	2.4%
3 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.4%
4 XYLEM INC	資本財	米ドル	アメリカ	2.4%
5 APOLLO HOSPITALS ENTERPRISE	ヘルスケア機器・サービス	インドルピー	インド	2.3%
6 KINGSPAN GROUP PLC	資本財	ユーロ	アイルランド	2.2%
7 KONINKLIJKE PHILIPS NV	ヘルスケア機器・サービス	ユーロ	オランダ	2.2%
8 BIO-RAD LABORATORIES A	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.1%
9 MSCI INC	各種金融	米ドル	アメリカ	2.1%
10 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.1%

組入銘柄数

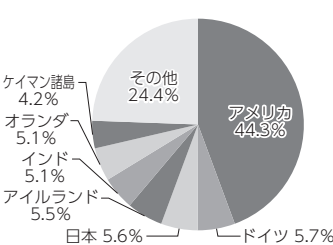
60銘柄

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

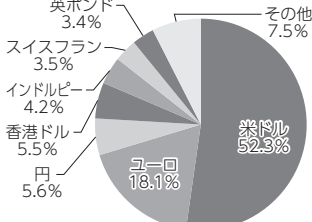
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。